

飯伊 産業経済動向

No.506 2021/5
(3.6.25発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,389 枚	△ 2.8 %	6.3 %
	金額	3,635,849 千円	6.7 %	△ 5.4 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)
	金額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上) (4月)	県内	3 件	(前月 11 件)	(前年同月 9 件)
	飯伊	0 件	(前月 1 件)	(前年同月 1 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(4月)		46 戸	△ 2.1 %	△ 36.1 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(4月)		1.19 倍	(前月 1.23 倍)	(前年同月 1.07 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,581 台	△ 16.4 %	15.6 %
	中古車	648 台	△ 22.3 %	26.6 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (4月)	新車	3,635 台	△ 42.4 %	29.4 %
	中古車	1,963 台	57.2 %	7.2 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	77,577 台	△ 6.9 %	24.5 %
	出	77,794 台	△ 5.3 %	22.4 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	47,530 台	△ 5.0 %	3.8 %
	出	46,135 台	△ 3.7 %	6.0 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	14,201 台	△ 23.5 %	34.7 %
	出	14,202 台	△ 35.8 %	34.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	34,107 台	△ 10.4 %	51.6 %
	出	33,587 台	△ 15.8 %	52.4 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	24,101 台	△ 2.2 %	- %
	出	24,969 台	△ 6.1 %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		84 件	29.2 %	△ 84.6 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0 件	(前月 0 件)	(前年同月 14 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	5,085 人	△ 10.7 %	168.6 %
	飯田～名古屋	4,656 人	△ 17.0 %	223.6 %
	飯田～長野	2,967 人	△ 9.1 %	64.4 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	2,632 人	△ 20.6 %	- %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,450 人	△ 7.8 %	22.8 %
	右回り	2,378 人	△ 10.8 %	19.4 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ
[リサイクル紙100%] を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況感は横ばい傾向に

当月の製造業の業況判断指数（D I）は、プラス3.8で、前月から18.4ポイント低下。翌月予測はプラス19.2で、前月から11.5ポイント上昇。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

✓景況感……やや悪化～やや改善。稼働日が少なかつたため販売高は前月比減少の声が多いが、景況感は横ばいとの声が多い。

✓先行き……先月ほどではないが上向きとの声が多い。

✓原材料価格…先月に続き、上昇傾向との声が多い。

[企業からのコメント]

- ・前月比で販売高は減少したが、稼働日の少なさによる影響。販売状況は回復してきている。
- ・組み立て用資材の入荷が遅れている。
- ・原材料単価は上昇しているが売価には簡単に反映できず、しばらくの間製品単価は変動しない。

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

✓景況感……横ばいと改善が半々。先行きでは、改善傾向との声が多い。

✓原材料価格…アルミ等、上昇との声が多い。

✓販売単価……値下げ要求ありとの声が複数聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・顧客により波はある様だが比較的好調。この状況で材料の高騰は非常に痛い。自社努力でコスト削減を図る。
- ・「半導体関連は引き続き堅調」「装置部品増産」「メモリー系、ロジック系ともに装置需要拡大」「FPD関連はまずまず」
- ・「顧客より大量発注に伴う値下げ交渉あり」「コストダウンの要求厳しい」

●産業機器、医療機器向け等機械部品

✓景況感……業者により分かれるが、横ばいとの声が最も多い。先行きでは改善を見込む声、悪化を見込む声より多く聞かれた。

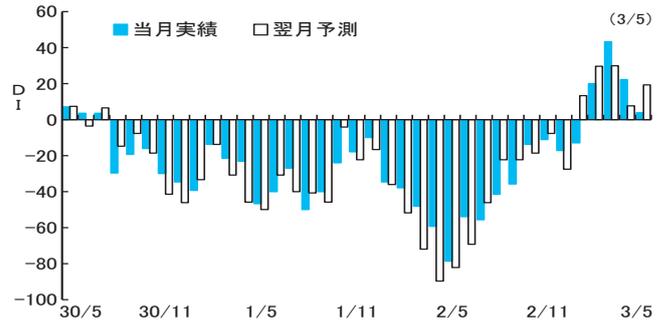
✓原材料価格…上昇傾向との声が回答の半数超。

✓製品価格……製品価格は横ばいとの声が最も多く、下降したとの声も複数。

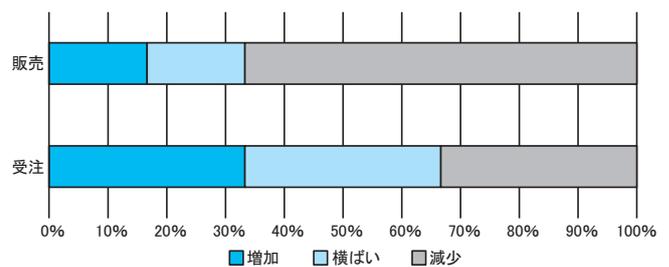
[企業からのコメント]

- ・医療機器部品は一旦落ち着く様子。秋以降の動向に注目。
- ・「表面実装機が一部で調整」「産業用機械関連は引き続き堅調」
- ・「ガソリン代、防錆油代が上昇」「工材全般が上昇。7月よりアルミが再上昇」
- ・5月に入って仕事の動きが悪くなったとの声が多い。5月後半以降は止まっていた図面も動きが出てきている。
- ・コロナ禍で頑張っているが、景気回復の先が見えない。ワクチン接種後の景気に期待する。

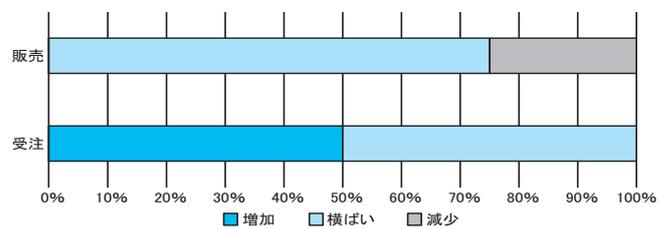
飯伊地区景況D I（製造業）



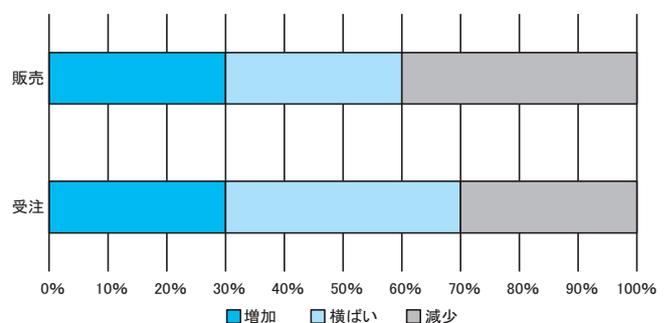
電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



●半生菓子、菓子原料等

売 上……前月比は業者により増減分かれた。前年比では、昨年の落ち込みが大きかったことによる反動で増加との声も聞かれた。

景 況 感……概ね横ばい。先行きも引き続き慎重な声が多い。

原材料価格…前月比で上昇との声が複数聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・コロナ発生から1年以上が経過し、この状況が当たり前になってきている。もう少しワクチン接種が進まないと状況は好転しないと思われる。
- ・まだ数字は出ていないが、良い5月だったと思う。今後の動きに注意している。
- ・原料の値上げ傾向は続いており、7月以降に本格的に値上げが実行されそう。

●水引製品

売 上…前月比、前年比とも業者により増減分かれた。

景況感…概ね横ばい。先行きは悪化を指摘する声も聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・新しい引き合いなどは少なく、静かな状況。一部、神社関係の品で得意先の予想以上に注文があったため、当社へも何回も追加注文が出た品があった。景気回復の予兆のようにも感じる。
- ・都市部の緊急事態宣言が6月まで延長されたことにより、消費者のお盆用品の購入出足が心配され、買い控えにつながらないかが懸念される。
- ・祝事の儀式が少なく、もう少し行事を開催してくれたらと思う次第である。コロナ禍で収入が減少し、余裕のない人が多数と思われ、現実には厳しい。
- ・コロナ禍の消滅以外には経済が活発にならないし、一日も早い終結を望む。全ての商品が動く以外に景気は好転せず、現時点では待つ以外に解決策が見当たらない。
- ・飯田の水引業者で新製品の発表展示会を開いたところがあった。この時期での意欲的な挑戦に敬意を表したい。

●上記以外の製造業

建築用金属製品…販売は前月比、前年比ともにやや増加。景況感も横ばいも先行きは改善を見込んでおり、次月以降の売上もやや増加を見込んでいるという。原材料単価の上昇傾向は続いており、前月比、前年比ともやや上昇、先行きもやや上昇を見込むという。

自動車向け部品…販売は前月比、前年比ともに増加。ただ景況感には大きな変動はないとの声。

印刷、出版関連…売上は前月比減少、前年比ではやや減少。景況感はやや改善、先行きも改善を見込むという。原材料単価は横ばい、製品単価はやや下降との声。

衣 料 品……………販売は前月比、前年比とも減少。景況感悪化しており、先行きも厳しいとの声が聞かれた。

[企業からのコメント]

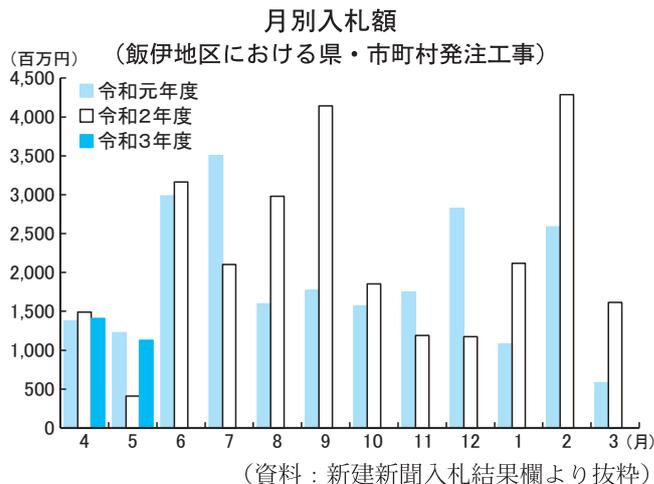
- ・全国的に建設関連は厳しい。新規取引の要請があり、価格面では厳しいと推測されるが、将来に向けた安定受注につながると見込まれるので、前向きに検討している。
- ・飯田市議選は激しい選挙戦となり、関連する印刷の仕事もスポット品としてまずまずだったが、町村の議員選は定数割れの地域が多く、印刷物も低調。
- ・少しずつイベントの復活の兆しが見られるようになってきた。規模的には縮小傾向が目立つありがたい。人形劇フェスタ、来年のお練り祭りの開催等に期待したい。
- ・百貨店の閉鎖等によって消費が低迷してしまっている。インバウンドもコロナ禍では当てにできず、全く先が見えない状況。コロナが早く終息するのを待つばかり。
- ・5月、6月は例年受注量が少なく、年間休日の多い月に設定されているが、ここまでアパレルの受注量が見込めない年はなかった。倒産・廃業が多くならないことを祈るばかり。

建設業

官公需

概況 5月の公共工事入札金額は前月比減少、前年比では大幅増加

- ✓公共工事入札額…当地区における当月の県、市町村発
入札額注工事の入札額合計は、約
11.2億円。前月比20%減少、前年比
では177%増加している。
(6月25日調査時点)
- ✓受注残高……前月比ではやや減少との声が多い。
先行きでも減少を見込む声はやや多
い。
- ✓原材料価格……燃料の他、資材も上昇との声が複数。
- ✓雇 用……技術者の不足を指摘する声は依然と
して多い。ただ工事量の増減がある
ため、当面は現状維持との声も。



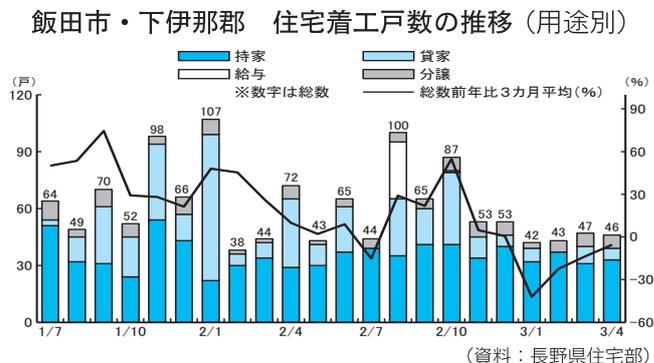
[企業からのコメント]

- ・「新年度の仕事の発注が遅い」「昨年度分の残工事はあるが、新年度の発注に期待する」
- ・国土強靱化施策の後押しもあって受発注が進み、昨年より建設関連の環境は改善している。公共事業の安定的な発注に期待。
- ・例年なら年度当初は仕事が薄くなるが、今年は三遠南信工事、リニア工事、護岸、砂防、治山の防災減災国土強靱化に加え、昨年の豪雨災害で発注が順調。土木工事は例年になく忙しく、作業員不足で忙しい。

民 需

概況 令和3年4月の住宅着工戸数は46戸
民間投資はコロナの影響に加え、木材値上がりに懸念の声

- ✓住宅着工戸数…当地区の4月の住宅着工戸数は46戸。
前月比2%、前年比36%減少。
- ✓受注残高……当月の受注残高の前月比は、やや減
少～横ばい。新築住宅はまずまずも、
修繕、リフォームが中心との声が多い。
- ✓原材料価格……木材不足による値上がりを指摘する声
に加え、燃料、鋼材等、他の資材価格
も上昇しているとの声が複数寄せられ
た。



[企業からのコメント]

- ・「工事は小規模リフォームのみ」「建築工事は大型箱物工事はないが、民間住宅、修繕、リフォームはまずまず」
- ・コロナの影響もあり仕事が少なくなってきた。資材の値段が上がって始めて極めて不安定な状況になりつつある。
- ・新築住宅やリフォームはポツポツだが、ここに来て木材の供給が滞るようになって、値段も急激に上がっている。新築住宅は木材の値上がり分が受注に影響するようになってきた。

建設資材等

概況 5月の生コン、骨材は総じて前年比で増加

- ✓生コン…売上の前月比は業者により増減分かれる。前年比では総じて増加。
- ✓骨 材…売上の前月比はやや減少も、前年比では総じて増加。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、国道トンネル工事、発電所工事、店舗新築工事、治山工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の7%弱。
- ・三遠南信関係、砂防関係と大口の出荷が多くなってきた。これから来年末頃まで忙しい時期が続くと予想される。生コンに関して旺盛な需要に対して供給がどこまで対応できるのか、心配なところ。
- ・地元業者は河川の工事をしており、梅雨前に終わらせるため急ピッチで作業している。下伊那の生コン業界は4月に引き続き5月も出荷は少なかったようだ。
- ・骨材の販売は前年と比べ好調。新規の設備投資を計画中。

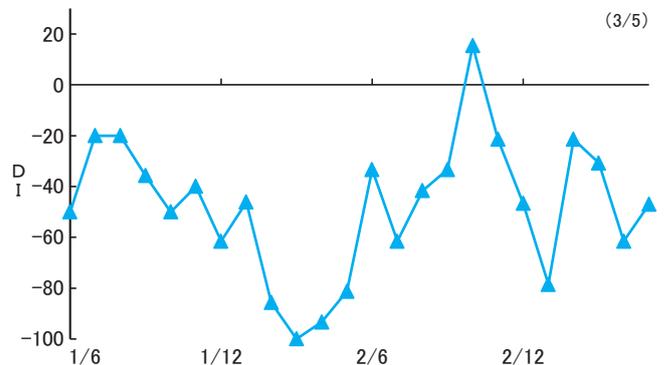
商業・サービス業

概況 景況感は上昇もまだ低水準

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、マイナス47.1で、前月から14.4ポイント上昇。

GW期間中であり、本来であれば繁忙期のはずが、緊急事態宣言の影響は大きく、飲食・宿泊・運輸業を中心に景況感悪い状況が続いている。特別定額給付金、持続化給付金に代表される各種給付が今年は少なく、昨年売上を伸ばした業種でも反動があるなど、コロナの長期化による悪影響は多様な業種で見受けられる。

商業・サービスD I



(3/5)

主な業種の動き

●小売業 概況 景況感はやや悪化～やや改善

☑売 上…前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。昨年のような定額給付がないこと、ワクチン接種の開始等により、日常の買い物動向は落ち着いてきているとの声。

[企業からのコメント]

- ・コロナ禍の中でも、日常の買い物動向はコロナ感染前に戻っている。その中で人口減少、買い物頻度の減少等により来店客数は減少しており、一昨年度の売上と比較して一進一退の状況が続いている。
- ・来店客数は前年並みも、野菜類の価格が上昇しているせいか、客単価が上昇している。
- ・一般的には景気は戻ってきていない。飲食店も一時ほどではないがイベント等がなくまだ厳しいとのこと。

●卸売業 概況 景況感悪化との声が複数、改善は見られない

☑売 上…前月比は業者により増減分かれるも、減少との声が多い。コロナの影響を指摘する声の他、ここでも昨年の特別定額給付金がなくなった反動を心配する声が聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・野菜は白菜・キャベツ・レタス等の価格は依然低迷。主力の胡瓜も天候が悪く入荷量に波があり5月としては少ない。野菜全体は入荷量、価格とも前年並み。果実は旬を迎えた梅が3年ぶりに入荷量回復し明るい材料になった。輸入柑橘も国産果実の端境期もあり販売順調。果実全体では入荷量は前年比11%増、価格は14%安であった。
- ・例年に比べると季節商品の伸びが悪い。家電は昨年「特別給付金」による特需があったが、今年は見込めないため先行き不安。
- ・仕入面で銅の価格が上昇し続けている。価格転嫁が今後の課題。
- ・年度末、年度初めの需要期が終了。夏場に向けて動きの少ないこの時期にどう動くかで業績が大きく変わる。
- ・5月は売上が近年にない厳しさだった。コロナが長引いていることが一番の原因だろう。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 GWを挟むも緊急事態宣言下で景況感は改善せず

☑売 上…GWを含む5月だが前月比では減少との声が多かった。前年比では増加との声が多いが、コロナ禍以前には到底及ばない状況が続いている。

[企業からのコメント]

- ・「5月もささえあい券に期待したがテイクアウト券の様にはいかなかった」「少人数の会食の予約はあり、昨年の緊急事態宣言時に比べればかなり良い。ただ緊急事態宣言の解除までは人数の多い会食需要は期待できない」
- ・「県民割も一時停止となっていて、6月には再開見込みもややこしい仕組みで戸惑うばかり。予約の入らない日は休館にして経費節約する予定」「早くワクチン接種が進んでほしいと祈るばかり」「一般客がワクチン接種して動き出しても、従業員が未接種では感染の心配がある」「GWはコロナ慣れしている部分もあり、宣言下でも県外旅行者は多かった。売上に貢献してくれるのはありがたいが、自粛しながら感染対策を一生懸命している身としては複雑な気持ち」
- ・タクシー売上は一昨年と比較して昼間は75%、夜間は35%であり、全く上向き感は見られない。この先ワクチン接種が進んで経済がどれだけコロナ前に戻るのか。エッセンシャルワーカーのため完全休業もできず、助成金の対象も厳しい。

三遠南信地域の「森林」(2)

本誌503号(令和3年3月発行号)では、飯伊地域の森林が川を通して三遠南信地域と深く結びついていることから、三遠南信各地域の森林面積や森林率、森林に占める人工林の割合をご紹介しますとともに、民有林の蓄積の増加や伐採適齢樹木の増加など、三遠南信各地域でも森林資源が人工林を中心に成熟過程にあることをご紹介します。

今回は、森林施業など林業の担い手となる林家(※)などの動向や、木材価格の推移についてご紹介する。

※林家…保有山林面積が1ha以上の世帯。なお、保有山林面積とは、所有山林面積から貸付山林面積を差し引いた後、借入山林面積を加えたもの。

1. 三遠南信各地域の林家数と保有山林面積

下記表は、三遠南信各地域の林家数、保有山林面積数、林家一戸当たりの保有山林面積を、2015年の農林業センサスによって示したものの。

これによると、総じて飯伊地域の林家一戸当たりの保有山林面積は、遠州、東三河の各地域よりも小さくなっている。ところで、東三河地域の場合、新城市、豊根村、東栄町、設楽町などの森林率が高いが、林家一戸当たりの保有山林面積には、これらの自治体間でも大きな差があるように思われる。こうした傾向は南信州地域でも見受けられ、例えば森林率93.3%の天龍村の林家一戸当たりの保有山林面積は15.1haだが、森林率93.6%の根羽村の林家一戸当たりの保有山林面積は7.5haで、約半分となっている。

飯伊地域				東三河地域				遠州地域			
市町村	林家数(A)	保有山林面積(B)	B/A	市町村	林家数(A)	保有山林面積(B)	B/A	市町村	林家数(A)	保有山林面積(B)	B/A
飯田市	1,236	6,821	5.5	豊橋市	385	3,304	8.6	浜松市	2,954	34,277	11.6
松川町	236	1,090	4.6	豊川市	545	3,459	6.3	うち浜松市 天竜区	1,747	19,220	11.0
高森町	143	594	4.2	蒲郡市	216	736	3.4	磐田市	229	1,726	7.5
阿南町	612	4,233	6.9	田原市	124	678	5.5	袋井市	220	886	4.0
阿智村	479	3,684	7.7	設楽町	645	5,307	8.2	掛川市	809	4,019	5.0
平谷村	80	893	11.2	東栄町	316	4,340	13.7	菊川市	267	1,527	5.7
根羽村	278	2,081	7.5	豊根村	168	3,443	20.5	湖西市	131	345	2.6
下條村	275	1,930	7.0	新城市	1,606	10,965	6.8	御前崎市	229	713	3.1
売木村	105	1,074	10.2	東三河計	4,005	32,232	8.0	森町	379	4,180	11.0
天龍村	206	3,118	15.1					遠州計	5,218	47,673	9.1
泰阜村	248	1,124	4.5								
喬木村	171	508	3.0								
豊丘村	348	1,252	3.6								
大鹿村	206	1,244	6.0								
飯伊計	4,623	29,646	6.4								

(単位: 戸、ha、ha/戸)
(資料: 2015年 農林業センサス)

ところで、右の表は飯伊地域における、2015年の全世帯に占める林家の割合を示したものの。根羽杉が知名度のある根羽村ではこの割合が67%となっており、当地域内でも高い。林家には在村していない世帯も含まれるこ

	世帯数(戸)	林家数	世帯数に占める 林家の割合		世帯数(戸)	林家数	世帯数に占める 林家の割合
飯田市	37,694	1,236	3.3%	下條村	1,159	275	23.7%
松川町	4,355	236	5.4%	売木村	270	105	38.9%
高森町	4,247	143	3.4%	天龍村	651	206	31.6%
阿南町	1,737	612	35.2%	泰阜村	639	248	38.8%
阿智村	2,188	479	21.9%	喬木村	2,029	171	8.4%
平谷村	211	80	37.9%	豊丘村	2,054	348	16.9%
根羽村	416	278	66.8%	大鹿村	475	206	43.4%

(資料: 国勢調査2015、農林業センサス2015)

ともあり必ずしも正確な比較とは言えないが、根羽村では森林資源の荒廃を防ぐために村内の各世帯が森林を保有することを奨励しており、移住者にも森林を保有してもらっているという。林家数の全世帯に占める割合が高い背景には、こうしたことの影響も考えられるのではないだろうか。

2. 木材価格の推移

この数年「森林・林業白書」は、森林所有者の収入となる立木価格が大きく低下し、再生林のための費用を賄えないような水準になっていると警鐘を鳴らしている。

そこで、製材用の素材となる丸太価格の推移をみると、径や長が異なるため単純な比較はできないものの、米まつが国産まつを一貫して上回っている。高い国産材は安い外材に勝てないと言われることも多いが、こうしたことから「価格面では、国産丸太の国際競争力は高くなっている」（山下一仁 林業政策の経済分析 2021年2月）とする見解もある。

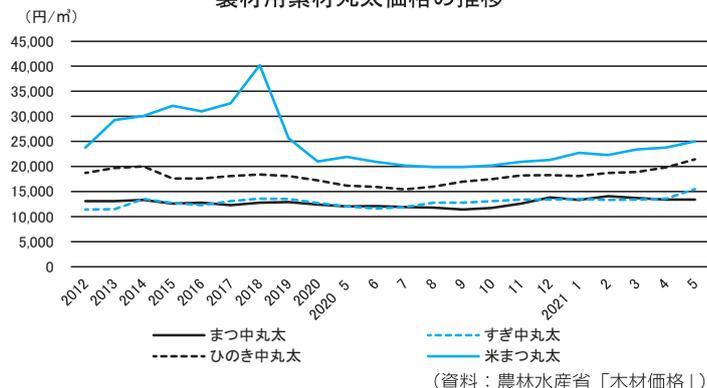
一方、製品卸売価格の推移を見ると、比較的安定していたが、2021年に入ってから上昇が著しい。（ウッドショック）

右図はこうした製品価格と、丸太価格の長期の推移を示したもののだが、丸太価格は長期に渡り下落しており、グラフにないが、山元立木価格も丸太価格同様、長期に渡り下落している。一方、製品価格は比較的安定して推移している。

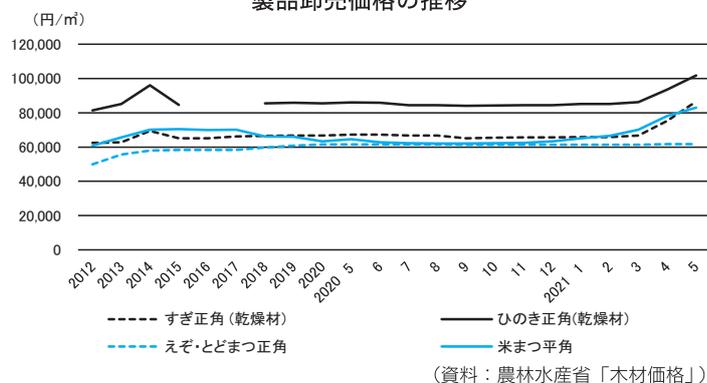
その理由は様々に分析されており、「オーストリアと日本における、林業経営の集積・集約化や効率的な林業のための条件整備の状況の違いは、丸太価格に占めるコストの差としても現れている。両国の丸太価格に占めるコストを比較すると、オーストリアでは伐出コスト及び運材コストが低くなっており、日本では森林所有者に支払われる立木価格が低く抑えられること

によって、伐出及び運材のコスト差を埋めているようにも見える。林業経営を効率化させ、伐出コスト、運材コストを下げることができれば、立木価格を上昇させることにもなり、森林所有者に収益を還元することで再生林を促し、循環的な林業や山村地域の活性化につなげることができる」とするもの（2017年度森林・林業白書）や、「伐採業者（素材生産業者）の収益・利潤が増加している」（山下一仁 林業政策の経済分析 2021年2月）ことを挙げるものもある。

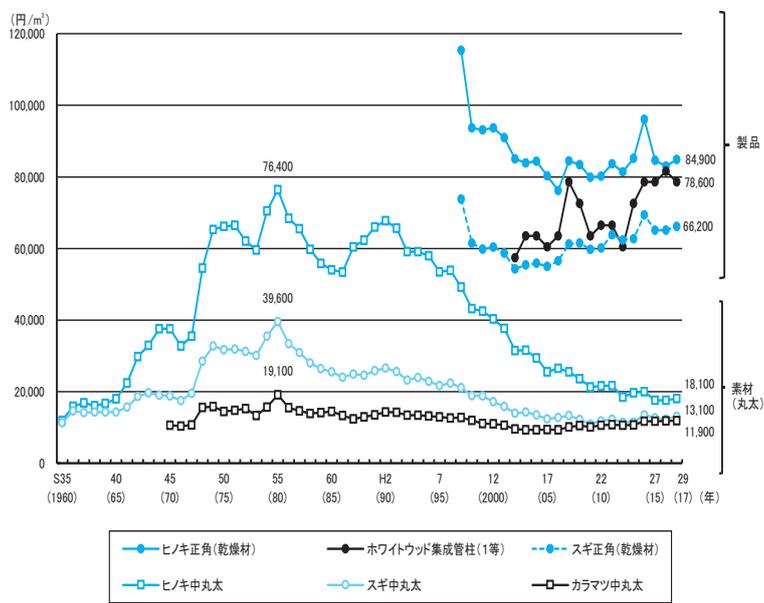
製材用素材丸太価格の推移



製品卸売価格の推移



我が国の木材価格の推移



金沢市のリニア対応

金沢市「新幹線延伸・リニア開業影響対策行動計画」をみる

～リニアを見越した対応・新幹線のまちづくりは～

石川県金沢市は、令和2年2月に「新幹線延伸・リニア開業影響対策行動計画 北陸新幹線敦賀延伸・リニア中央新幹線名古屋開業に向けて」（以下報告書）を発表した。「令和5年（2023年）の北陸新幹線敦賀開業や、令和9年（2027年）のリニア中央新幹線名古屋開業」（報告書）がもたらす影響を踏まえ、「各種施策を整理し、行動計画としてとりまとめ」（同）ている。

1. 敦賀延伸はプラス・マイナス両面あり

北陸新幹線開通により「独り勝ち」と言われる金沢市であるが、平成27年の北陸新幹線金沢開業により生じたプラス効果とマイナス効果を検証するため、平成29年に「北陸新幹線開業による影響検証会議」を開催し、プラス効果の拡大とマイナス効果の解消に向けた施策を検討し取り組んできた。そして今般は、北陸新幹線敦賀延伸、リニア中央新幹線開業に向けた影響評価と対応策を検討している。

北陸新幹線敦賀延伸による影響は、報告書は基本的事項として、

- ① 関西圏、中京圏などへの時間短縮効果、但し敦賀駅で乗り換えが発生（関西・中京圏からの直通特急が廃止）。人流への影響は列車運行形態、運賃水準などで変化する。
 - ② 小松空港の国内線利用客が減少。便数の減少があれば、羽田空港を介した国際的ネットワーク接続に影響
 - ③（中京圏からの直通特急が廃止されることにより）乗り継ぎによる利便性低下から中京圏へ高速バスの需要増加が見込まれる。
 - ④ 敦賀延伸後は、北陸新幹線の運行障害時のリダンダンシー（代替補完性）の確保がこれまで以上に求められる（在来線の直通特急が廃止され、新幹線依存の交通体系となることを懸念）。（報告書を要約）
- としている。

2. リニア沿線地域との競争を懸念

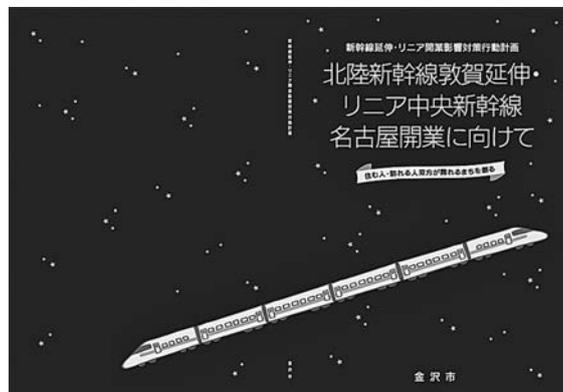
リニア中央新幹線開業に際しては、前項の敦賀延伸による影響に加えて、として、

- ① 金沢とリニア中間駅地域との間の時間的距離が短縮。
- ② 首都圏と中京圏の結びつきが密となり、都市と都市、都市と地方がつながったビジネススタイル・ライフスタイルが生じ、全国に浸透していく可能性がある。
- ③ 首都圏－中京圏の移動時時間の短縮により、広域的に流動する観光客の増加、金沢への呼び込める可能性が広がる。
- ④ 首都圏から名古屋以西・以南への時間距離が大幅に短縮され、観光・MICEの候補地について、新たな都市間競争が発生。
- ⑤ 中京圏住民の観光ニーズが首都圏に向き、北陸圏が中京圏からの鉄道利用の誘客に影響
- ⑥ 名古屋の都市開発が進み、都市機能の集積が加速すると見込まれ、北陸圏の企業のが中京圏を対象とした経済行動を強化、中京圏への人口流出の恐れがある。（報告書を要約）

が挙げられている。北陸圏がリニア沿線地域との時間距離短縮による人の呼び込みに期待する面と、リニア沿線地域（とりわ



JR金沢駅



「北陸新幹線敦賀延伸・リニア開業影響対策行動計画」報告書（金沢市HP）

け中京圏)の吸引力アップ(北陸圏の相対的地盤沈下)を懸念するものとなっている。北陸圏にとっての脅威はリニア沿線地域にとっての強みなりアドバンテージとなるだろう。いずれにしろリニア沿線以外の地域で、早くもリニア新幹線開業を見据えての対応を視野に入れているところがあることに注目したい。

3. 新幹線を巡るまちづくりは

報告書は、この後具体的取組事項が提案されている。紙面の都合上全部を紹介できないが、その眼目は「金沢をよりブラッシュアップする」ということになると思われる。

金沢と飯田を比べて論じるのは余りにも無謀とのそしりは免れないが、参考になる点がある。金沢駅は在来線併設駅ではあるが、中心市街地と距離(約2 km)がある。新幹線開業後、駅周辺の賑わいが顕著で、旧来の繁華街であった片町・香林坊地区の相対的地盤沈下が指摘されており、新幹線駅と離れる(約4 km)ことになる当市としても気になるところである。

ところが金沢と飯田の街では異なる面がある、金沢の街は新幹線駅から市中心部まで意外と歩いてしまう。一つは駅から中心部まで高低差が僅かなこと、もう一つは金沢を代表する有名観光スポットが駅から中心部にかけて点在しており、それらを巡っているうちに中心部に至ること。飯田はそうはいかない。金沢駅から市中心部への公共交通機関は路線バス(各方面路線が香林坊を経由して行くため、数分間隔)とタクシーだが、飯田はどうするか。

中心市街地への流れをつくるには、訪問する動機付けとなるものが必要となる。金沢では新幹線開業を見据え、早くから取り組まれてきた。金沢城の公園化(構想は1970年代から)、県庁の移転・公園化、金沢21世紀美術館の開館など思いっくまに挙げられる。金沢市が平成24年2月に策定した「北陸新幹線開業に向けて ～金沢魅力発信行動計画～」では、方向性として、

- ①国内外から多くの人々が来街したくなるような”魅力あるまち“をつくる
 - ②”まちの賑わいを創出する“こと
 - ③”便利で移動しやすいまち“にすること
 - ④以上のまちの”魅力を発信“すること
 - ⑤市民との協働による”もてなし力の向上“
- をまず第一に掲げ、具体的施策に言及している。参考にできるのではない。

もう一つ、「まちづくりは新幹線が通ってからやればよい」という声をたまに聞くことがあるが、富山市は新交通システムの「富山ライトレール」など駅周辺整備が新幹線開業に間に合わず、「金沢独り勝ち」の要因の一つとなったといわれている。新幹線開業を目指した(間に合わせた)周到な準備が肝要であることを示している。



金沢城公園

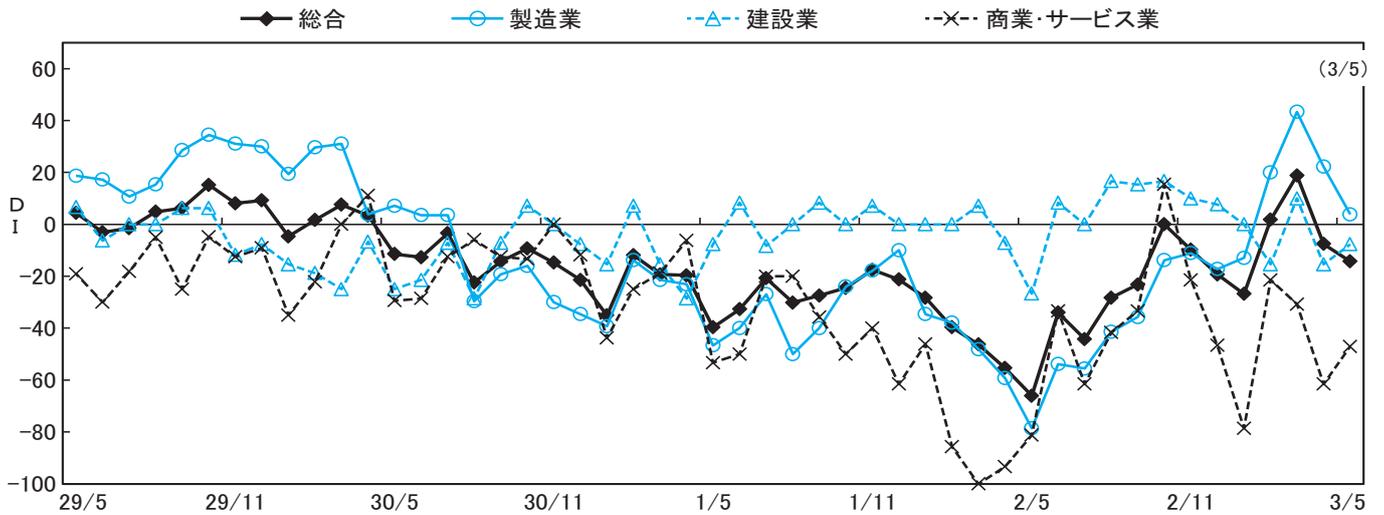


長町武家屋敷跡

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）



統計調査から

【令和2年国勢調査 速報集計 人口速報集計（男女別人口及び世帯総数）】

令和2年国勢調査 速報が公表された。

飯伊地区の人口は、男性74,987人、女性80,426人、総数で155,413人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の2018年推計による2020年推計（出生中位・死亡中位仮定）より600人多い。

統計名：令和2年国勢調査 速報集計 人口速報集計（男女別人口及び世帯総数）

実施年月：2020年10月

	総数	男	女	参考：日本の地域別将来推計人口 （平成30（2018）年推計）による、 2020年の総数
飯田市	98,206	47,307	50,899	97,696
松川町	12,539	6,073	6,466	12,603
高森町	12,814	6,158	6,656	12,868
阿南町	4,302	2,075	2,227	4,437
阿智村	6,071	2,894	3,177	6,052
平谷村	389	192	197	436
根羽村	853	411	442	831
下條村	3,545	1,709	1,836	3,625
売木村	549	251	298	520
天龍村	1,175	556	619	1,127
泰阜村	1,542	726	816	1,530
喬木村	5,977	2,909	3,068	5,904
豊丘村	6,430	3,188	3,242	6,299
大鹿村	1,021	538	483	885
合計	155,413	74,987	80,426	154,813